



Hard & Seal Engineering Service

(証券コード:7995)

株式会社バルーカー

2020年3月期 第2四半期 決算説明会

2019年11月19日

*本資料上の予想・計画数値は、作成日において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績とは異なる可能性があります
*本資料上の変動率(%)の算出にあたっては、可能な限り円単位に基づいた計算をしており、百万円単位での計算とは異なる場合があります



▶ 2020年3月期 第2四半期（上期）
連結決算・事業概況

▷ 2020年3月期 下期・通期
予想・見通し



前年同期比減収減益ながらも概ね計画線の連結業績

	2019年3月期 第1・2四半期	2019年3月期 第3・4四半期	2020年3月期 第1・2四半期 (前年同期比) (前半期比)	対前年同期収益 主要変動要因
売上高	26,084	25,159	24,915 (▲4.5%) (▲1.0%)	<p><営業利益減少要因></p> <ul style="list-style-type: none"> ・先端産業市場・機器市場の停滞による売上の減少 ・企業基盤整備に向けた費用の増加 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産効率化や外部リソース活用による供給能力拡大とコスト削減の両立 ・H&Sコンセプトを具現化した新規案件のさらなる拡大
営業利益	3,207	2,402	2,545 (▲20.6%) (+5.9%)	
親会社株主に 帰属する 純利益	2,354	1,733	1,816 (▲22.8%) (+4.8%)	
売上総利益率	37.9%	36.6%	37.9%	
営業利益率	12.3%	9.5%	10.2%	
純利益率	9.0%	6.9%	7.3%	

(百万円)



連結業績半期推移

2020年3月期
第2四半期

連結決算・事業概況

	2018年3月期 第1・2四半期	2018年3月期 第3・4四半期	2019年3月期 第1・2四半期	2019年3月期 第3・4四半期	2020年3月期 第1・2四半期 <進捗率>	2020年3月期 通期業績予想
売上高	23,278	24,313	26,084	25,159	24,915 <49.8%>	50,000
売上総利益	8,643	8,872	9,884	9,209	9,447 <50.5%>	18,700 (予想前提値)
販売管理費	5,904	6,236	6,677	6,806	6,902 <49.0%>	14,100 (予想前提値)
営業利益	2,739	2,635	3,207	2,402	2,545 <55.3%>	4,600
親会社株主に 帰属する 純利益	1,899	1,934	2,354	1,733	1,816 <55.0%>	3,300
売上総利益率	37.1%	36.5%	37.9%	36.6%	37.9%	37.4%
営業利益率	11.8%	10.8%	12.3%	9.5%	10.2%	9.2%

(百万円)



営業利益変動要因分解

2020年3月期
第2四半期

連結決算・事業概況

持続的な成長に向けた

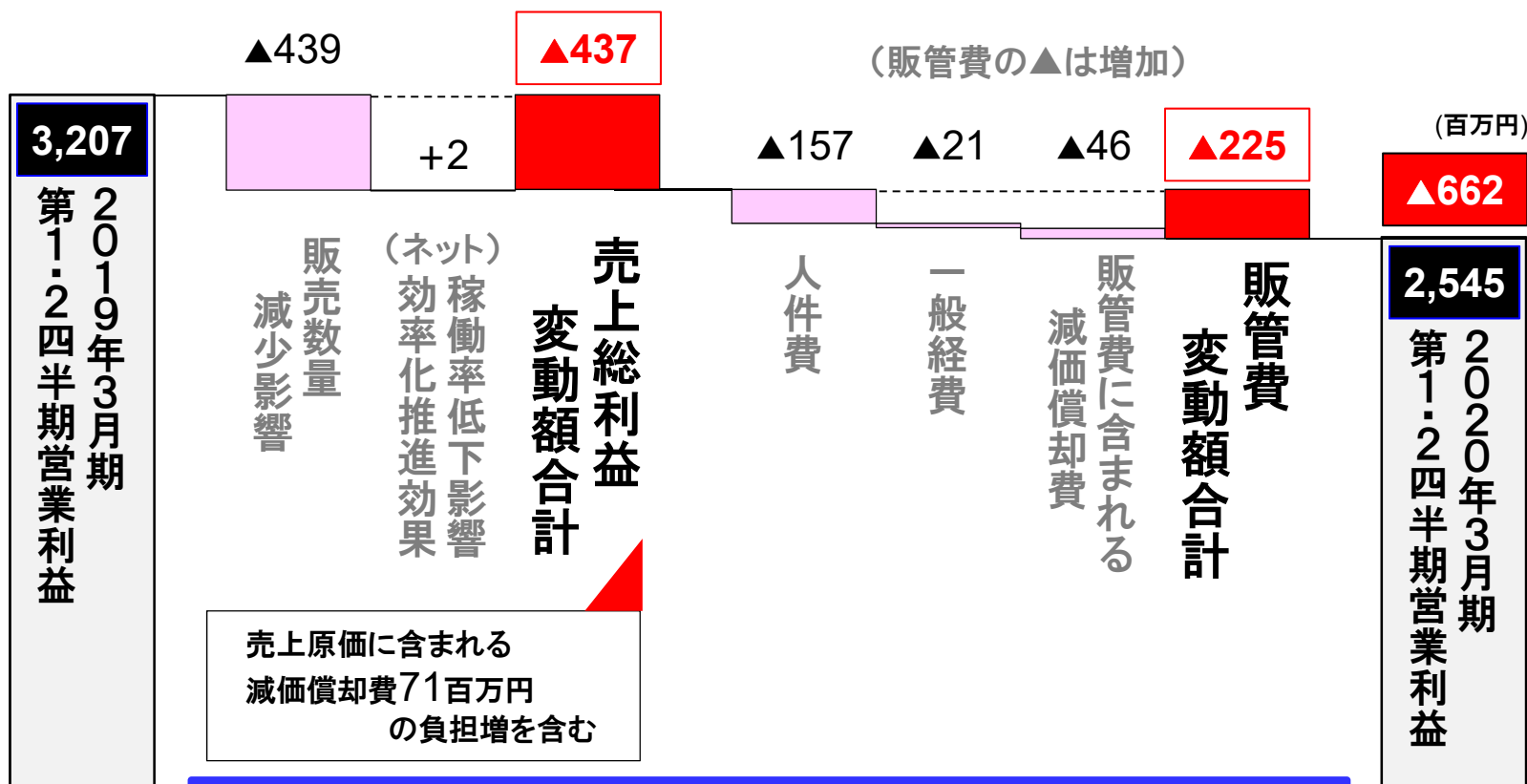
戦略投資を継続

攻め

R&Dの強化、生産拠点の能力増強・効率化

守り

リスクマネジメント体制・品質保証体制の整備



売上原価・販管費増には戦略投資実行分約150百万円を含む



バランスシート・キャッシュフロー

2020年3月期
第2四半期

連結決算・事業概況

バランスシート(主要科目)

	2018年3月期 第2四半期末	2019年3月期 第2四半期末	2020年3月期 第2四半期末
負債合計	14,975	15,971	15,175
純資産合計	31,747	34,862	35,225
負債純資産 合計	46,722	50,834	50,400
自己資本 比率	64.7%	65.6%	66.8%
有利子負債	4,409	3,937	3,951
ネット 有利子負債	▲1,137	▲1,405	▲3,209

(百万円)

キャッシュ・フロー(主要科目)

	2018年3月期 第1・2四半期	2019年3月期 第1・2四半期	2020年3月期 第1・2四半期
営業CF	1,232	2,200	2,349
投資CF	▲337	▲1,555	▲1,405
フリーCF	895	645	943

(百万円)

“健全で持続的な成長の実現”に活用

▶ R&Dの強化

- …基礎研究・製品開発・外部連携・H&S要員の増強
- …ネットワークの整備(海外R&D拠点の新設・機能強化)

▶ 生産効率と品質の向上

- …新生産技術の開発と導入(自動化の推進)
- …品質検査・保証体制の強化



市場別売上高・地域別売上高

2020年3月期
第2四半期

連結決算・事業概況

市場別売上高

	2018年 3月期 第1・2四半期	2019年 3月期 第1・2四半期	2020年 3月期 第1・2四半期 (前年同期比)
先端産業 市場	71億円	89億円	81億円 (▲9.0%)
機器 市場	83億円	91億円	85億円 (▲6.6%)
プラント 市場	77億円	78億円	80億円 (+2.6%)

先端産業:半導体製造装置、半導体ファブ、FPD関連、電子部品等
機 器:産業機械、建設機械、造船、航空機、自動車、官公庁等
プラント:重化学工業プラント(新設・メンテナンス)、電力・ガス等

(備考)3市場合計値と連結売上高との差額は、“その他市場”による

地域別売上高

	2018年 3月期 第1・2四半期	2019年 3月期 第1・2四半期	2020年 3月期 第1・2四半期 (前年同期比)
国内	16,978	18,805	17,520 (▲6.8%)
国内比率	72.9%	72.1%	70.3%
海外	6,299	7,278	7,394 (+1.6%)
海外比率	27.1%	27.9%	29.7%
アジア	4,589	4,817	5,060 (+5.1%)
北米	1,624	2,382	2,259 (▲5.1%)
その他	85	78	74 (▲5.0%)

(百万円)



セグメント別実績
シール製品事業

2020年3月期
第2四半期

連結決算・事業概況

- ▶ 事業環境悪化の影響を最小限に抑制
- ▶ 先行投資負担により収益性が低下

セグメント 業績	2018年 3月期 第1・2四半期	2019年 3月期 第1・2四半期	2020年 3月期 第1・2四半期 (前年同期比)
売上高	15,830	17,133	16,316 (▲4.8%)
セグメント 利益	2,415	2,622	1,887 (▲28.0%)
利益率	15.3%	15.3%	11.6%

(百万円)



	2018年 3月期 第1・2四半期	2019年 3月期 第1・2四半期	2020年 3月期 第1・2四半期 (前年同期比)
市場別売上高			
先端産業 市場	43.5億円	48.0億円	44.5億円 (▲7.3%)
機器 市場	64.5億円	70.0億円	66.0億円 (▲5.7%)
プラント 市場	50.0億円	53.0億円	52.0億円 (▲1.9%)

地域別売上高			
国内	12,273	13,008	12,306 (▲5.4%)
海外	3,556	4,125	4,009 (▲2.8%)
海外比率	22.5%	24.1%	24.6%

(百万円)



セグメント別実績 機能樹脂製品事業

2020年3月期
第2四半期

連結決算・事業概況

- ▶ 環境悪化の状況下、戦略製品が伸長
- ▶ 生産・調達網の整備により収益性が向上

セグメント 業績	2018年 3月期 第1・2四半期	2019年 3月期 第1・2四半期	2020年 3月期 第1・2四半期 (前年同期比)
売上高	6,054	7,279	6,865 (▲5.7%)
セグメント 利益	185	414	409 (▲1.2%)
利益率	3.1%	5.7%	6.0%

(百万円)



	2018年 3月期 第1・2四半期	2019年 3月期 第1・2四半期	2020年 3月期 第1・2四半期 (前年同期比)
市場別売上高			
先端産業 市場	15.0億円	27.0億円	21.5億円 (▲20.4%)
機器 市場	18.5億円	21.0億円	18.5億円 (▲11.9%)
プラント 市場	26.5億円	24.5億円	28.0億円 (+14.3%)

地域別売上高			
国内	3,978	4,971	4,420 (▲11.1%)
海外	2,075	2,308	2,445 (+5.9%)
海外比率	34.3%	31.7%	35.6%

(百万円)



セグメント別実績 その他事業

2020年3月期
第2四半期

連結決算・事業概況

▶シリコンウエハーリサイクルが堅調
▶効率化・高度化投資を推進

セグメント 業績	2018年 3月期 第1・2四半期	2019年 3月期 第1・2四半期	2020年 3月期 第1・2四半期 (前年同期比)
売上高	1,394	1,670	1,733 (+3.7%)
セグメント 利益	138	170	248 (+45.7%)
利益率	9.9%	10.2%	14.3%



(百万円)

	2018年 3月期 第1・2四半期	2019年 3月期 第1・2四半期	2020年 3月期 第1・2四半期 (前年同期比)
市場別売上高			
先端産業 市場	12.0億円	14.0億円	14.5億円 (+3.6%)
その他 市場	1.0億円	2.0億円	2.0億円 (-)

	2018年 3月期 第1・2四半期	2019年 3月期 第1・2四半期	2020年 3月期 第1・2四半期 (前年同期比)
地域別売上高			
国内	726	826	793 (▲3.9%)
海外	667	844	939 (+11.3%)
海外比率	47.8%	50.5%	54.2%

(百万円)



セグメント別受注高・売上高・受注残高 四半期推移

2020年3月期
第2四半期

連結決算・事業概況

		2019年 3月期 第1四半期	2019年 3月期 第2四半期	2019年 3月期 第3四半期	2019年 3月期 第4四半期	2020年 3月期 第1四半期	2020年 3月期 第2四半期
受注高	連結	14,138	12,944	13,890	12,448	12,866	11,212
	シール	9,053	8,295	8,378	8,358	7,955	7,534
	機能樹脂	4,167	3,770	4,631	3,284	4,060	2,753
	その他	917	878	880	805	849	923
売上高	連結	13,245	12,838	12,625	12,533	12,619	12,296
	シール	8,973	8,160	8,331	8,128	8,451	7,865
	機能樹脂	3,510	3,768	3,452	3,581	3,340	3,525
	その他	761	909	841	823	827	905
受注残高	連結	6,832	6,938	8,202	8,117	8,364	7,280
	シール	3,819	3,955	4,002	4,232	3,736	3,406
	機能樹脂	2,718	2,719	3,898	3,601	4,322	3,550
	その他	293	263	302	284	305	323
B/ブレシオ		1.04	1.04	1.05	1.05	1.01	0.97

受注高

＜シール製品事業＞
先端産業市場と機器市場の
事業環境悪化、プラント市場
の季節要因により減少

＜機能樹脂製品事業＞
先端産業市場・プラント市場
向け特殊タンクの受注調整と
顧客側の発注期ずれにより
減少

受注残高

＜機能樹脂製品事業＞
特殊タンクの計画納品の
進捗を反映し減少
(主に米国・台湾向け)

* B/ブレシオは2四半期移動平均値



設備投資・研究開発・原材料価格影響

2020年3月期
第2四半期

連結決算・事業概況

設備投資(着工・進行中案件)

<シール製品事業>

- ・生産拠点の環境対策の強化
- ・先端産業市場向け製品の新生産拠点の立ち上げ(高機能シール製品)

<機能樹脂製品事業(米国・中国)>

- ・先端産業市場・プラント市場向け製品の供給体制の整備(特殊タンク製品)

<その他事業(国内)>

- ・シリコンウエハーリサイクルの品質向上

原材料価格変動影響

- ・ふっ素樹脂材料の値下がりにより負担が微減

	2018年 3月期 第1・2四半期	2019年 3月期 第1・2四半期	2020年 3月期 第1・2四半期 (前年同期比)
設備投資額	711	1,139	1,301 (+14.2%)
<参考> 設備投資額 (着工基準)	2,332	1,756	2,144 (+22.1%)
減価償却費	743	837	1,040 (+24.3%)
研究開発費	420	522	540 (+3.4%)
研究開発費 比率	1.8%	2.0%	2.2%
原材料価格 変動影響 (負担増)	154	217	▲4

(百万円)



株主還元

2020年3月期
第2四半期

連結決算・事業概況

	第2四半期末 (中間)配当	期末配当	年間配当	自己株式取得	株主還元性向
2018年3月期	40.0円	45.0円	85.0円	305.4百万円 端株取得分を含む	47.1%
2019年3月期	45.0円	50.0円	95.0円		40.9%
2020年3月期	50.0円	50.0円 (予想)	100.0円 (予想)	—	53.3% 配当予想のみ

配当と自己株式取得をあわせた金額を「株主還元」と設定し、還元総額の親会社株主に帰属する当期純利益に対する比率、すなわち「株主還元性向」の50%を目標としつつ以下の事項を勘案し、株主還元を行う。

- ・将来の企業価値の最大化に向けた設備投資および研究開発投資ならびに戦略的投資の必要性
- ・リスク管理体制の強化や人材開発の拡充などの企業基盤整備ならびに事業環境の変動に対する備えの重要性

当社グループの連結株主還元性向は以下の基準を採用

$$\text{連結株主還元性向} = \frac{\text{当年度配当金総額} + \text{当年度業績を基準とした自己株式取得額}}{\text{当年度当期純利益}}$$



▷ 2020年3月期 第2四半期（上期）
連結決算・事業概況

▶ 2020年3月期 下期・通期
予想・見通し



事業環境認識(上期からの変動)

▶ 2020年3月期
下期・通期

	環境認識	業績への影響
先端産業市場	<ul style="list-style-type: none"> 半導体デバイス生産は急激な回復は見込みづらいが、徐々に底打ち 半導体製造装置の受注は回復するが、当期中の部品への波及は限定的 	<ul style="list-style-type: none"> シール製品事業 機能樹脂製品事業 その他事業
機器市場	<ul style="list-style-type: none"> 一般産業機器生産は好転要素が少なく、停滞続く 自動車生産は低調が続くが、新型モデル投入効果が下支え 	<ul style="list-style-type: none"> シール製品事業 機能樹脂製品事業
プラント市場	<ul style="list-style-type: none"> 国内大規模メンテナンスは季節要因により減少するが、一定の前倒し需要は発生 半導体用など一部化学品の生産は高水準を維持 	<ul style="list-style-type: none"> シール製品事業 機能樹脂製品事業

— 天災影響の長期化・通商問題・原材料価格上昇等がリスク要因 —



“攻”
事業
推進

▪ H&Sによる収益の拡大

…シールエンジニアリングの事業化に向けた基盤づくり

▪ 米国・中国事業の体制整備

…地域に根付いた生産・R&D・販売体制の構築

▪ 自動化投資による生産革新

下期▶ 半導体の景況回復を展望した基盤整備を推進

“守”
基盤
整備

▪ リスクマネージメント体制の拡充

…コンプライアンス・品質管理体制の強化

▪ 海外現地コア人材の育成



成長市場に向けた事業基盤の強化 (先端産業市場向けサプライチェーンの整備)

▶ 2020年3月期
下期・通期

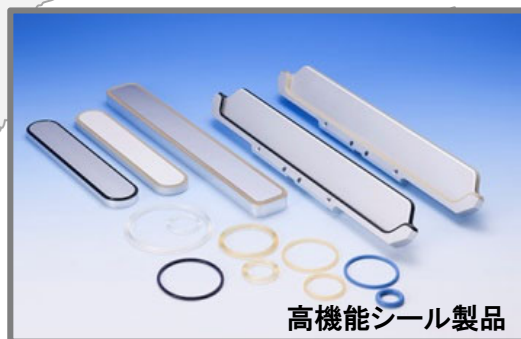
マーケティングの強化、R&Dの充実、生産の効率化と能力拡大により収益の拡大を図る

中国

- <販売>
北京拠点開設
- <生産>
▶ 高機能シール製品
新生産拠点開設
- ▶ ふっ素樹脂特殊タンク
生産能力増強
- ▶ ふっ素樹脂切削加工品
生産能力増強

韓国

- <生産>
▶ 高機能シール製品
生産能力増強



シンガポール

- <販売>
バルカーシンガポール人員増強

日本

- <販売>
仙台営業所人員増強
- <生産>
▶ 高機能シール製品
品質高度化・生産自動化
- ▶ シリコンウエハーリサイクル
品質高度化・能力増強



米国

- <生産>
▶ ふっ素樹脂特殊タンク
生産能力整備
- <R&D>
▶ 高機能シール製品
専門研究開発拠点開設

台湾

- <生産>
▶ ふっ素樹脂特殊タンク
生産能力増強
- <R&D>
▶ ふっ素樹脂特殊タンク
専門研究開発拠点開設

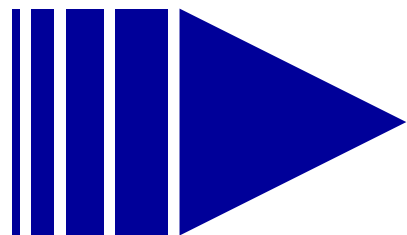


計画詳細数値修正

▶ 2020年3月期
下期・通期

▶ 上期実績と事業環境等を勘案し、通期市場別販売計画を見直し

			売上高修正額
先端産業 市場	上期予実差異	顧客の稼働率が低下した影響等により下振れ	▲5億円
	下期計画前提	設備投資と生産稼働率回復の織り込みは限定的▶上期比増加	
機器 市場	上期予実差異	世界的な設備投資の減速による影響を受け下振れ	▲9億円
	下期計画前提	事業環境回復は見込みづらいが季節要因を反映▶上期比微増	
プラント 市場	上期予実差異	一部製品の需要増等と案件数が堅調であったことにより上振れ	+13億円
	下期計画前提	計画納品の進捗と季節要因を反映▶上期比微減	
その他		H&S事業の進捗を反映	+1億円



市場別計画を基に
地域別・セグメント別
各計画値を修正

地域別販売計画		売上高修正額
	国内	▲2億円
	海外	+2億円
	アジア	▲3億円
	北米	+5億円

セグメント別業績計画			修正額
	シール 製品事業	売上高	+2億円
		セグメント利益	据え置き
	機能樹脂 製品事業	売上高	▲5億円
		セグメント利益	▲1億円
	その他 事業	売上高	+3億円
		セグメント利益	+1億円



売上高・利益予想 / 市場別販売修正計画

▶ 2020年3月期
下期・通期

	2019年 3月期	2020年3月期		
		第1・2 四半期	対 通期予想 進捗率	通期予想 (前年同期比)
売上高	51,243	24,915	<u>49.8%</u>	50,000 (▲2.4%)
営業利益	5,609	2,545	<u>55.3%</u>	4,600 (▲18.0%)
親会社株主に 帰属する 純利益	4,087	1,816	<u>55.0%</u>	3,300 (▲19.3%)
営業利益率	10.9%	10.2%		9.2%
1株当たり 当期純利益	232.43	103.29		187.67
ROE	12.4%			10.0%

(百万円)

	2019年 3月期	2020年3月期		
		第1・2 四半期	対通期 修正計画 進捗率	通期 修正計画 (前年同期比)
先端産業 市場	178億円	81億円	<u>49.1%</u>	165億円 (▲7.3%)
機器 市場	181億円	85億円	<u>49.4%</u>	172億円 (▲5.0%)
プラント 市場	149億円	80億円	<u>50.6%</u>	158億円 (+6.0%)

先端産業:半導体製造装置、半導体ファブ、FPD関連、電子部品等
機器:産業機械、建設機械、造船、航空機、自動車等
プラント:重化学工業プラント(新設・メンテナンス)、電力・ガス等

(備考)3市場合計値と連結売上高との差額は、“その他市場”による



地域別販売修正計画 / セグメント別修正計画

▶ 2020年3月期
下期・通期

	2019年 3月期	2020年3月期		
		第1・2 四半期	対通期 修正計画 進捗率	通期 修正計画 (前年同期比)
国内	36,486	17,520	<u>50.2%</u>	34,900 (▲4.3%)
国内比率	71.2%	70.3%	/	69.8%
海外	14,757	7,394	<u>49.0%</u>	15,100 (+2.3%)
海外比率	28.8%	29.7%	/	30.2%
アジア	10,165	5,060	<u>50.1%</u>	10,100 (▲0.6%)
北米	4,410	2,259	<u>47.1%</u>	4,800 (+8.8%)

(百万円)

	2019年 3月期	2020年3月期		
		第1・2 四半期	対通期 修正計画 進捗率	通期 修正計画 (前年同期比)
シール 製品事業	売上高	33,593	<u>50.4%</u>	32,400 (▲3.6%)
	セグメント 利益	4,447	<u>57.2%</u>	3,300 (▲25.8%)
機能樹脂 製品事業	売上高	14,313	<u>49.0%</u>	14,000 (▲2.2%)
	セグメント 利益	777	<u>51.1%</u>	800 (+3.0%)
その他 事業	売上高	3,336	<u>48.1%</u>	3,600 (+7.9%)
	セグメント 利益	384	<u>49.6%</u>	500 (+30.2%)

(百万円)



(百万円)

	“NV・S7” 最終年度	“NV・S8” 最終年度	
	2018年3月期	2021年3月期	期間 変動率
売上高	47,592	55,000	+15.6%
営業利益	5,374	7,000	+30.3%
親会社株主に 帰属する 純利益	3,833	4,800	+25.2%
営業 利益率	11.3%	12.7%	+1.4pt
ROE	12.3%	12.5%	+0.2pt

業容の拡大・収益性の向上・
効率化の徹底により、

営業利益率・ROE

12%以上

- ▶ 戦略製品の拡充
- ▶ 海外事業の拡大
- ▶ ニッチ市場の開拓
- ▶ “H&S”による新たな価値創造
- ▶ “選択と集中”の継続
- ▶ 生産効率の飛躍的改善

収益のさらなる拡大

- ▶ M&Aを含む戦略投資も検討



THE VALQUA WAY

**Value
& Quality**
(価値の創造と
品質の向上)

基本理念

- ・社会の発展のために
- ・正正堂堂と
- ・世界中のステークホルダーへ
- ・独創的技術で

4つの
経営理念

行動指針
10項

- (1) 事業を通じた社会への貢献
- (2) 顧客感動の提供
- (3) 人格と個性の尊重
- (4) 株主との信頼関係の構築
- (5) 地域社会との共生
- (6) 安全衛生は全てに優先
- (7) コンプライアンス遵守と誠実な行動
- (8) 環境にやさしいモノづくり
- (9) 資産の保全と有効活用
- (10) チャレンジ精神にあふれた「学習と成長」への強いこだわり